

No	テーマ	内容	対象者			大学等名称	学部	氏名		問合せ先
			小学生	中学生	高校生					
1	「支える人」を支えるケアをめぐる心理学	医療・福祉・教育などの専門的なケアはもちろん、子育てや家族介護などの身近なケアも含めて、広く「ケア」に関わる臨床心理学の知見を紹介する。ケアすることの意義、カウンセリングをもとにした良好なコミュニケーションのあり方、「傷ついた癒やし手」などの概念について、わかりやすく講義する。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	林 智一	香川大学 地域連携推進課
2	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際に体験し、支援につながる方法を考えます。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	橋本 忠行	香川大学 地域連携推進課
3	心理学って何？	「心理学」とはその名のとおり、「心を理解する学問」ですが、その研究の範囲はとても広いです。そこで、心理学における様々な分野の研究から代表的なものをいくつかピックアップし、分かりやすく紹介していきます。	—	○	○	香川大学	医学部	准教授	野口 修司	香川大学 地域連携推進課
4	カウンセリングとは何か、家族の理解と支援、組織の理解と支援など	カウンセリングの実践に基づき、カウンセリングとは何か、家族の心理、組織の中の心理力動、メンタルヘルス・ハラスメント理解などについて、実践に基づいてわかりやすく説明する。	—	○	○	香川大学	医学部	教授	竹森 元彦	香川大学 地域連携推進課
5	英語の成り立ち	英語の文法の諸相についていくつかの現象を取り上げて語る。英語の歴史的成立過程のいずれかの段階について語る。	—	—	○	香川大学	教育学部	教授	永尾 智	香川大学 地域連携推進課
6	友達との対話を通して学ぶ算数・数学	友達との対話を通して算数・数学学習を体験します。その体験から、学習における対話の意義について考えます。	○	○	—	香川大学	教育学部	教授	松島 充	香川大学 地域連携推進課

7	人としてともに生きる、自分づくり なかまづくり	(学校で行われている道徳教育や人権教育について)人として他者とともに生きることの大切さや、人として「したくてもしてはいけないこと」や「したくなくても しなければいけないこと」について考える。	○	○	—	香川大学	教育学部	教授	植田 和也	香川大学 地域連携推進課
8	心理学を学ぶと何がわかるのか					香川大学	教育学部	教授	大久保 智生	香川大学 地域連携推進課
9	やる気の心理学	勉強や仕事など、「やる気」が問題になる場面は少なくありません。やる気とは何か、どうすればやる気が高まるのかについて、心理学を通して考えます。	○	○	○	香川大学	教育学部	准教授	岡田 涼	香川大学 地域連携推進課
10	自尊感情の心理学	自分のことを大事だと思ふ気持ちのことを自尊感情といいます。心理学の研究をもとに、自尊感情の特徴について考えます。	—	—	○	香川大学	教育学部	准教授	岡田 涼	香川大学 地域連携推進課
11	いじめ問題を考える	いじめの定義やメカニズム、いじめの加害者や傍観者の心理、いじめ防止対策推進法に基づくいじめの予防と対応など、対象に合わせて「いじめ問題」を考えます。	○	○	○	香川大学	教育学部	教授	金網 知征	香川大学 地域連携推進課
12	ネット利用上のモラルとリテラシーを考える	SNS等における誹謗中傷や個人情報暴露、不適切投稿や炎上、犯罪巻き込まれなどのネット媒体問題について、その背景要因を探り、被害者にも加害者にもならないための情報モラルと情報リテラシーについて考えます。	○	○	○	香川大学	教育学部	教授	金網 知征	香川大学 地域連携推進課

13	カタカナ語・略語について	世の中に氾濫しているカタカナ語・略語について正確な形式、歴史・起源、利点・欠点などを学ぶ。	—	○	○	香川大学	教育学部	教授	中住 幸治	香川大学 地域連携推進課
14	風水の文化人類学—中国の風水と日本の家相を比較して	現在日本で広がっている風水ブームや、家相をアレンジした日本独自の風水文化と中国古来の風水、沖縄の風水などを手がかりに、文化人類学の視点から、「風水とは何か」に迫る。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
15	日本の漁民の神々媽祖と船霊信仰—文化人類学へのいざない	香川県や青森県大間を中心にして日本漁民における媽祖と船霊信仰の諸相、トランスナショナルな信仰の実態を解説するとともに、フィールドワークという文化人類学の核心をなす営みを通して、この学問の面白さを初心者に伝える。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
16	瀬戸内海離島から日本文化を考える—文化人類学の視座から	「島を通して世界を見る」という人類学の視座から、瀬戸内海離島からみた日本文化の本土と離島・海洋の多様なつながりを探る。島民の生活、島独自の習俗や祭儀、中国黄海離島からみた中国文化とも比較しつつ、人はなぜ島に惹かれるのかをも考える。	—	—	○	香川大学	経済学部	教授	緒方 宏海	香川大学 地域連携推進課
17	触れてみよう！ラテン語	古代ローマの公用語として広く普及したラテン語はいわゆる「死語」ですが、英語をはじめとする近代語の基盤として、重要な役割を果たしています。そんなラテン語の魅力を紹介します。	—	—	○	香川大学	大学教育基盤センター	教授	佐藤 慶太	香川大学 地域連携推進課
18	哲学ってどんな学問？	難しいというイメージがある「哲学」。そもそも一体何をする学問なのか、西洋哲学の歴史に触れながら、分かりやすく解説します。	—	—	○	香川大学	大学教育基盤センター	教授	佐藤 慶太	香川大学 地域連携推進課

19	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。それとも、それでは人類に限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	○	○	○	香川大学	法学部	教授	石井 一也	香川大学 地域連携推進課
20	ガンディーの非暴力思想	グローバル社会が、暴力の様相を強めてゆくなかで、ますます重要性をましているガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	○	○	○	香川大学	法学部	教授	石井 一也	香川大学 地域連携推進課
21	災害と文学	地震や感染症などの災害は、人々の生き方や社会のあり方を大きく揺さぶってきました。近現代文学を読みながら、人はなぜ災害を語るのか、文学は何を伝えようとするのかを考えます。文学研究の方法を紹介しながら、社会と向き合う学びの一端を体験してもらいます。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	助教	大石 富美	四国学院大学 入試課
22	「東アジア史」から考える「日本人」と「日本文化」	「日本人」とは誰ですか。「日本文化」とは何ですか。自明なもののように思われるこの問いを「東アジア史」の観点から考えてみましょう。この講義では、文化や伝統の普遍と特殊の問題について、縦の時間軸と横の空間軸で眺めるアイデンティティの多様性という観点から学習します。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	金 泰勲	四国学院大学 入試課
23	身近な地域を知る	身近な地域について、その人文・自然的特徴を考えたいと思います。普段生活している場所の状態や成り立ちなどを確認し、社会科で学ぶ内容との関連性や地域の課題などについて知ってほしいです。具体的には、地域社会に関係する人口や産業など、自然災害に関わる地形や気候などの特徴について、地域に適した内容を紹介していきます。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	准教授	金子 直樹	四国学院大学 入試課
24	文学が培う宗教リテラシー／宗教的センス	宗教リテラシー／宗教的センスとは何か。現代社会で生き抜くために必要な感性です。宗教との向き合い方や信仰を持つ人たちがどう関わるかについて考える力を身につけていくことを目的としています。本講義では、戦後に活躍したカトリック作家の遠藤周作の作品群を取り上げます。『沈黙』や『深い河』などの代表作が扱う諸課題を通して、知識だけでは説明がつかない「宗教」の謎・おもしろさに気づくことができるかもしれません。	—	—	○	四国学院大学	現代教養学部	准教授	ネルソン ジョシュア	四国学院大学 入試課

25	自尊感情が「低い」といけないのか？	21世紀に入ると、「自尊感情」の波が学校にまるで神話やカルトのように押し寄せます。先生方も親御さんも子どもたちも、自尊感情が低い・高いと大騒ぎしています。そもそも「self-esteem」がそんなに個人の状態を言い当てるほど意味のある説明変数と言えるのか。そういう議論を抜きにして前に進めないと思いませんか。	-	-	○	四国学院大学	現代教養学部	教授	会沢 勲	四国学院大学 入試課
26	歴史像を組み立てる	歴史は過去の出来事ですが、私たちは過去の出来事それ自体は直接観察できません。ではどのようにしたら過去の歴史を知ることができるのでしょうか。私たちは過去の人間が残した何らかの活動の痕跡である「史料」に基づいて歴史像を組み立てて、それによって過去の出来事に迫ることができます。この講義では実際に史料を読みながら、歴史を探究していきましょう。	-	-	○	四国学院大学	現代教養学部	助教	松本 智也	四国学院大学 入試課
27	「なぜ」を徹底的に探求する哲学	哲学は驚きから始まる、と言われます。私たちが抱く驚きは、なぜそうなのかの根拠や原因がわからないものごとに対してあるものであり、そこで同時に生じる根拠や原因への好奇心こそが人を哲学的探求へと向かわせるのです。つまり哲学は、ものごとの根拠や原因を知りたくなる好奇心に基づく探求のことなのです。この講義では、そうした哲学的探求の典型的な例として、存在に関する問題を取り上げてわかりやすく紹介します。	-	-	○	四国学院大学	現代教養学部	助教	小山田 圭一	四国学院大学 入試課
28	人を理解する心の仕組み	無意識の思い込みによって、他者との関係が悪くなったり、偏見や差別が生じたりすることは少なくありません。よりよい人間関係を築いていく手掛かりとするために、人を理解する心の仕組みについて考えていきます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	教授	横川和章	高松大学・高松短期大学 入学センター
29	コミュニケーション力を高めよう	コミュニケーション力を高めるためには、適切な社会的スキルを身に付けることが大切です。行動理論をもとにして「話す・聴く」「心を伝える」などの上手な対人スキルを考え、体験しながら「人と上手に付き合うコツ」を学んでいきます。	○	○	○	高松大学	発達科学部	講師	織田幸美	高松大学・高松短期大学 入学センター
30	人間あるあるを心理学で読み解いてみよう！	心理学とは、人間取扱説明書のようなものです。感情や性格、学習、人間関係における「私」や「あなた(たち)」について、科学的根拠に基づいて考えることができるようになります。「心とは何か」…そんな疑問や不思議を感じたことがあれば、ぜひ心理学の扉を開いてみませんか？	-	○	○	高松短期大学	保育学科	教授	中村多見	高松大学・高松短期大学 入学センター

31	古墳や城跡をもとに「ふるさと」の歴史を知ろう	発掘調査などの成果にもとづいて、身近な古墳や城跡について解説します。(現地見学もできます)	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
32	発掘された農具や漁具などをもとに「ふるさと」の歴史を知ろう	発掘調査などの成果にもとづいて、香川県内の農業、漁業、手工業などの歴史について解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
33	屋島で讃岐とヤマト王権の深い結びつきを知ろう	屋嶋城や鑑真や空海にまつわる伝説などを手がかりにして、讃岐とヤマト王権との強い結びつきについて解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
34	朝鮮式山城の本当の築城の目的を知ろう	朝鮮式山城はヤマト王権によって唐と新羅に対抗するために築城されたとされていますが、香川県の城山城と屋嶋城を比較することでそれぞれが異なる目的のために築城されたことを解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
35	最古の讃岐ブランド「円座」の歴史を知ろう	高松市円座町の町名は「讃岐円座」に基づきます。「讃岐円座」のブランド名は鎌倉時代に登場します。奈良時代からの長い時間の中で讃岐ブランドとして進化した円座の歴史を解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
36	屋島は本当に源平合戦の古戦場なのか考えてみよう	現在の屋島に伝わる源平合戦の古戦場は「いつ」「だれが」「何を根拠にして」決定したのかわからないことばかりです。『平家物語』との関連や屋島の地形などを手がかりに解説します。	○	○	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター

37	香川県の学校建築のすばらしさを体感しよう	山本忠司や大江宏などの有名建築家によって設計された高等学校の校舎などを子細に観察することによって、香川県の風土に溶け込んだ学校建築の面白さを解説します。	-	-	○	高松短期大学	ビジネスデザイン学科	准教授	西岡達哉	高松大学・高松短期大学 入学センター
38	【体験型】 GIS 画像から地域を読み解く	地理情報システム(GIS)を用い、地図や航空写真から土地利用の変遷をたどります。都市化、災害に強い土地とは？ 様々な情報を直感的にとらえる方法をご紹介します。(対象校周辺の地図・写真を用います。)	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	古田 昇	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
39	【体験型】 歴史災害と地形環境	巨大地震や風水害などの被災度には大きな地域差があります。土地の生い立ちと歴史的变化をたどり、先人の工夫と教訓を災害軽減につなげる智慧を学びます。(対象校周辺の地図・写真を用います。)	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	古田 昇	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
40	数百年を経た木の建築がなぜ残っているのか！	現存する世界最古の木造建築である法隆寺金堂をはじめ日本の木造建築は数百年を経てもなぜ残っているのでしょうか。守り伝えるための智慧と工夫を歴史的に解き明かしながら、日本文化の特質を考えてみます。	-	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	清水 真一	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
41	四国遍路の世界遺産に向けた取り組みとは？	長い歴史をもち、今もたくさんの人たちが巡礼する四国遍路は、世界に誇る地域の宝です。四国では、この四国遍路を世界遺産にしようとする取り組みが進められています。世界遺産のあらましや、四国遍路の歴史などをわかりやすく紹介します。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	上野 進	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
42	洋風建築の誕生	近世の長い鎖国の後、幕末に開港した日本は、西洋の建築文化に触れました。明治維新をきっかけに、日本各地に洋風の建物が建てられました。日本人は、西洋の技術・デザインに、どう向き合い、どう学び、取り入れていったのか。今に残る洋風建築を通して、近代日本の学びを考えます。	-	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	長尾 充	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター

43	「伊能忠敬の日本地図」を読み解く	江戸時代に日本全国を歩いて測量を行い、日本地図を完成させた伊能忠敬。彼が作った地図は「伊能図」と呼ばれ、描かれる地形が正確であることはよく知られています。この「伊能図」が何のために、どのようにして作られ、その後の日本の歴史にどのような役割を果たしたのかを考えてみます。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	久下 実	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
44	むかしの人々が考えた地球のすがた	現在では、地球の形や大きさは科学的に証明され、現代に生きる私たちには当たり前の事実となりました。しかし、それが明らかになるまで、日本をはじめ世界各地には、さまざまな「地球のすがた」があり、その背景にはその地域の神話や宗教が深く関わっています。この授業では、主に日本とヨーロッパでの「地球のすがた」の探究のあゆみをたどりながら、そこから見えてくることを考えてみます。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	久下 実	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
45	生きることと「詩」 —良寛の場合—	「生きること」と「文学（詩）」とが深く結びついた、人間探究としての「詩」のありようを、親しみ深い逸話で知られる近世越後の人、良寛を例として読み、困難な時代を生きる私たちにとってのその意義を考えます。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	下田 祐輔	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
46	現代小説を読む	現代小説を読んでみることで、わたしたちが生きている「いま」について考えてみます。題材は、村上春樹の作品を中心に考えていきます。また、皆さんからのリクエストも受け付けています。わたしと一緒に読んでみませんか。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	上田 穂積	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
47	島崎藤村の文学を新しく読み直す	「文豪」と呼ばれる文学者がいるのは皆さんもご存知でしょう。島崎藤村は、夏目漱石や森鷗外と並んでその代表です。この授業では、藤村の文学に「歴史」の視点から新しい光を当てる試みです。藤村はフランスにいた大正時代に、第一次世界大戦という人類史の大きな戦争と遭遇しました。この授業では、そうした「文学」と「歴史」を交差させる試みです。日本近代文学の入門授業です。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	中山 弘明	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
48	お化けから聞く自然のこだま —妖怪学入門	中世から江戸時代にかけての文学・美術を題材に、おなじみの妖怪たちに登場願ひ、日本人と自然・都市生活とのかかわりからめながら、彼らのプロフィールを読み解きます。山野や身の回りのモノに妖怪たちの影を感じられたら、ちょっと彼らに親しみがわくことでしょう。	○	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	倉本 昭	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター

49	ことばの意味と価値	「がんばりやさん」ってほめことばでしょうか。ことばの意味やことばがもつイメージは、そのつかいかたによってちがうものになったり、しだいに変化したりします。みぢかなことばを例に、その意味と価値の変化をたどってみましょう。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	教授	播磨 桂子	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
50	映画に見るアメリカの姿	ハリウッドのみならずインディペンデント系も含むアメリカの映画産業を通じて、“人種のるつぼ”から“人種のサラダボウル”へと変容してきた現代アメリカの姿を見てみましょう。	—	○	○	徳島文理大学	文学部	准教授	山本 義浩	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
51	アメリカ文学入門	大学ではどのように文学を学ぶのか。アメリカ文学の代表的な作品を題材に、小説の読み方、英語の読み方を体験してみましょう。	—	—	○	徳島文理大学	文学部	准教授	山本 義浩	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
52	子どもの心理を知ろう！	心理学の「心」はどこにあるのでしょうか？子どもの「心」の発達にとって必要なもの、子どもの「心」の発達とは何かについて紹介します。「心」について一緒に考えてみましょう。	—	—	○	香川短期大学	子ども学科 第I部 第三部	准教授	小松陽子	香川短期大学入試センター
53	子守唄の昔と今を知ろう	かつて子守唄は、子守りを労働とする少女たちによってうたわれていました。今日において少女たちが口ずさむ子守唄を耳にする機会はほぼありません。とはいえ、こうした子守唄は地域振興の資源として日本各地で活用され、親しまれてきました。映画、ドラマ、アニメの中に子守唄が織り込まれることも多く、最近では「鬼滅の刃 遊郭編」に登場した子守唄が話題を呼びました。この授業では、日本の子守唄がどのように変化してきたのかをたどることで、人々が地域の文化とどう関わってきたのかを考えます。	—	—	○	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	助教	松尾 有起	せとうち観光専門職短期大学 広報課